

平成29年度行政事業レビューシート (警察庁)									
事業名	子供と女性に対する犯罪等を防止するための対策に関する調査研究			担当部局庁	生活安全局			作成責任者	
事業開始年度	平成30年度	事業終了(予定)年度	平成30年度	担当課室	生活安全企画課			生活安全企画課長 後藤 和宏	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	『『世界一安全な日本』創造戦略』 「子供・若者育成支援推進大綱」 「第4次男女共同参画基本計画」				
主要政策・施策	子ども・若者育成支援、男女共同参画			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本事業の成果を通じ、防犯環境設計の観点から、防犯環境整備を始めとしたハード・ソフト両面による官民一体となった更なる安全安心まちづくりを全国で展開し、もって子供・女性に対する犯罪等を防止する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	子供・女性を対象とした犯罪の発生状況の分析や意識調査を実施するとともに、学識経験者のほか関係省庁(国土交通省、文部科学省等)の担当者をオブザーバーとする有識者研究会を開催し、防犯環境設計の4つの原則(被害対象の強化・回避、接近の制御、自然監視性の確保、領域性の強化)を踏まえた「場所」(防犯環境)に着目した防犯対策について検討を行うことにより、概ね5年ごとに見直しを行っている「安全・安心まちづくり推進要綱」の次回改正(平成31年度)に反映させるほか、子供・女性の安全に関する広報用ツールや防犯ボランティア活動に関するマニュアルを作成する。								
実施方法									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	0	0	20	
	執行額	-	-	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!				
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	業務委託等	-	20						
	計	-	20						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	少年被害の強制性交等(強姦)の認知件数を前年よりも減少させる。	少年被害の強制性交等(強姦)の認知件数 ※統計値は暦年	成果実績	件	506	432	357	-	-
			目標値	件	556	506	432	-	357
			達成度	%	109.9	117.1	121	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	平成28年の犯罪情勢								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度
	少年被害の強制わいせつの認知件数を前年よりも減少させる。	少年被害の強制わいせつの認知件数 ※統計値は暦年	成果実績	件	3,720	3,196	2,888	-	-
			目標値	件	3,950	3,720	3,196	-	2,888
			達成度	%	106.2	116.4	110.6	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	平成28年の犯罪情勢								

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度		
	少年被害の公然わいせつ の認知件数を前年よりも減 少させる。	少年被害の公然わいせつ の認知件数 ※統計値は暦年		成果実績	件	539	555	426	-	-
		目標値	件	573	539	555	-	426		
		達成度	%	106.3	97.1	130.3	-	-		
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	平成28年の犯罪情勢									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度		
女性被害の強制性交等(強 姦)の認知件数を前年より も減少させる。	女性被害の強制性交等(強 姦)の認知件数 ※統計値は暦年	成果実績		件	1,250	1,167	989	-	-	
		目標値	件	1,409	1,250	1,167	-	989		
		達成度	%	112.7	107.1	118	-	-		
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	平成28年の犯罪情勢									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 29 年度		
女性被害の強制わいせつ の認知件数を前年よりも減 少させる。	女性被害の強制わいせつ の認知件数 ※統計値は暦年	成果実績		件	7,186	6,596	5,941	-	-	
		目標値	件	7,446	7,186	6,596	-	5,941		
		達成度	%	103.6	108.9	111	-	-		
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	平成28年の犯罪情勢									
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック	<input checked="" type="checkbox"/>		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込		
	モデル地区におけるアンケート回答件数			活動実績	件	-	-	-	-	
			当初見込み	件	-	-	-	4,500		
単位当たり コスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
	執行額/事業			単位当たり コスト	円	-	-	-	-	
			計算式	執行額/事 業数	-	-	-	-		
政策評価、 経済・ 財政再生 アクション プラン	政策	1 市民生活の安全と平穏の確保								
	施策	1 総合的な犯罪抑止対策の推進								
	測定指標	定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度	
		地域住民等の安全を脅かしている犯罪の認知件数(重 要犯罪(注)) (注) 殺人、強盗、放火、強姦、略取誘拐・人身売買及 び強制わいせつ			実績値	件	13,856	12,323	11,300	-
				目標値	件	14,504	14,371	13,907	-	13,309
		定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標年度 29 年度	
		地域住民等の安全を脅かしている犯罪の認知件数(住 宅対象侵入犯罪(注)) (注) 住宅強盗、空き巣、忍込み、居空き及び住居侵 入			実績値	件	65,140	61,772	54,278	-
				目標値	件	87,789	80,360	74,014	-	67,754
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	-									

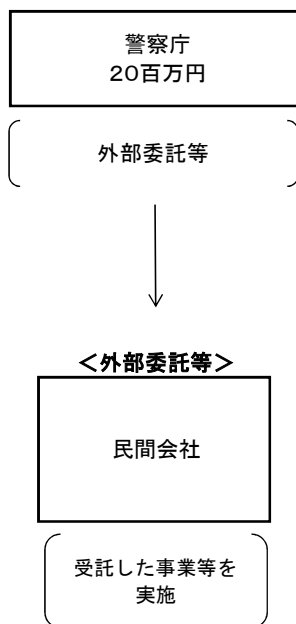
プログラムとの関係	経済・財政再生プログラム	改革項目 (第一階層)	分野:	-	-						
			KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
			成果実績	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-			
		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
		成果実績	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-			
		達成度	%	-	-	-	-	-			
		本事業の成果と改革項目・KPIとの関係									

事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	国民が安全にかつ安心して暮らせる社会の実現を目指すための事業であり、国民や社会のニーズを反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	全国にわたる調査対象に対し意識調査等を実施し、総合的な防犯環境整備を始めとした更なる犯罪抑止を推進することを目的とするものであり、国において実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	「『世界一安全な日本』創造戦略」、「子供・若者育成支援推進大綱」及び「第4次男女共同参画基本計画」に基づく総合的な犯罪抑止対策は、極めて優先度の高い政策であり、それを実現するべく実施される事業は必要不可欠である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名

点検・改善結果	点検結果	子供・女性に対する犯罪等の防止に警察として適切な対応を行うには、意識調査や有識者研究会等を実施し、犯罪抑止対策について検討を行うことが極めて重要で、国として実施すべき優先度の高い事業である。				
	改善の方向性	執行における競争性・透明性を確保するため、一般競争入札により委託する予定である。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	要求に当たって検討すべき事項について、おおむね適切に検討がなされている。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	平成30年度概算要求については事業内容を精査した上で要求している。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	
平成28年度	-					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位：百万円)

主要施策名	該当の有無
医療分野の研究開発関連	
宇宙開発利用	
沖縄振興	
海洋政策	
科学技術・イノベーション	
観光立国	
交通安全対策	
高齢社会対策	
国土強靱化施策	
子ども・若者育成支援	○
自殺対策	
障害者施策	
少子化社会対策	
食育推進	
男女共同参画	○
地球温暖化対策	
犯罪被害者等施策	
IT戦略	
クールジャパン	
知的財産	
地方創生	
ODA	
2020年東京オリパラ	
一億総活躍推進	

子ども・若者育成支援、男女共同参画

会計区分	該当の有無
一般会計	○
交付税及び譲与税配付金特別会計	
地震再保険特別会計	
国債整理基金特別会計	
外国為替資金特別会計	
財政投融资特別会計財政融資資金勘定	
財政投融资特別会計投資勘定	
財政投融资特別会計特定国有財産整備勘定	
エネルギー対策特別会計エネルギー需給勘定	
エネルギー対策特別会計電源開発促進勘定	
エネルギー対策特別会計原子力損害賠償支援勘定	
労働保険特別会計労災勘定	
労働保険特別会計雇用勘定	
労働保険特別会計徴収勘定	
年金特別会計基礎年金勘定	
年金特別会計国民年金勘定	
年金特別会計厚生年金勘定	
年金特別会計健康勘定	
年金特別会計子ども・子育て支援勘定	
年金特別会計業務勘定	
食料安定供給特別会計農業経営安定勘定	
食料安定供給特別会計食糧管理勘定	
食料安定供給特別会計農業共済再保険勘定	
食料安定供給特別会計漁船再保険勘定	
食料安定供給特別会計漁業共済保険勘定	
食料安定供給特別会計業務勘定	
食料安定供給特別会計国営土地改良事業勘定	
国有林野事業債務管理特別会計	
貿易再保険特別会計	
特許特別会計	
自動車安全特別会計保障勘定	
自動車安全特別会計自動車検査登録勘定	
自動車安全特別会計自動車事故対策勘定	
自動車安全特別会計空港整備勘定	
東日本大震災復興特別会計	

一般会計

主要経費名	該当の有無
社会保障	
文教及び科学振興	
恩給関係	
防衛関係	
公共事業	
経済協力	
中小企業対策	
エネルギー対策	
食料安定供給関係	
その他の事項経費	○

その他の事項経費

実施方法	該当の有無
直接実施	
委託・請負	
補助	
負担	
交付	
貸付	
その他	

事業番号	省庁
	(選択してください)
新29	内閣官房
新30	内閣府
	個人情報保護委員会
	公正取引委員会
	警察庁
	金融庁
	消費者庁
	復興庁
	総務省
	法務省
	外務省
	財務省
	文部科学省
	厚生労働省
	農林水産省
	経済産業省
	国土交通省
	環境省
	原子力規制委員会
	防衛省





開始年度	終了(予定)年度	行政事業レビュー推進チームの所見
不明	平成26年度	廃止
昭和元年度以前	平成27年度	事業全体の 抜本的な改善
昭和2年度	平成28年度	事業内容の一部改善
昭和3年度	平成29年度	終了予定
昭和4年度	平成30年度	現状通り
昭和5年度	平成31年度	
昭和6年度	平成32年度	
昭和7年度	平成33年度	
昭和8年度	平成34年度	
昭和9年度	平成35年度	
昭和10年度	平成36年度	
昭和11年度	平成37年度	
昭和12年度	平成38年度	
昭和13年度	平成39年度	
昭和14年度	平成40年度	
昭和15年度	平成41年度	
昭和16年度	平成42年度	
昭和17年度	平成43年度	
昭和18年度	平成44年度	
昭和19年度	平成45年度	
昭和20年度	平成46年度	
昭和21年度	平成47年度	
昭和22年度	平成48年度	
昭和23年度	平成49年度	
昭和24年度	平成50年度	
昭和25年度	平成51年度	
昭和26年度	平成52年度	
昭和27年度	平成53年度	
昭和28年度	平成54年度	
昭和29年度	平成55年度	
昭和30年度	平成55年度以降	
昭和31年度	終了予定なし	
昭和32年度		
昭和33年度		
昭和34年度		
昭和35年度		
昭和36年度		
昭和37年度		
昭和38年度		
昭和39年度		
昭和40年度		
昭和41年度		
昭和42年度		
昭和43年度		
昭和44年度		
昭和45年度		
昭和46年度		
昭和47年度		
昭和48年度		
昭和49年度		
昭和50年度		
昭和51年度		
昭和52年度		
昭和53年度		
昭和54年度		
昭和55年度		
昭和56年度		
昭和57年度		

昭和58年度
昭和59年度
昭和60年度
昭和61年度
昭和62年度
昭和63年度
平成元年度
平成2年度
平成3年度
平成4年度
平成5年度
平成6年度
平成7年度
平成8年度
平成9年度
平成10年度
平成11年度
平成12年度
平成13年度
平成14年度
平成15年度
平成16年度
平成17年度
平成18年度
平成19年度
平成20年度
平成21年度
平成22年度
平成23年度
平成24年度
平成25年度
平成26年度
平成27年度
平成28年度
平成29年度
平成30年度

新

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況
廃止
縮減
執行等改善
年度内に改善を検討
予定通り終了
現状通り

契約方式
一般競争契約
一般競争契約
指名競争契約
指名競争契約
随意契約
随意契約
随意契約
随意契約
補助金等交付
運営費交付金交付
国庫債務負担行為等
その他

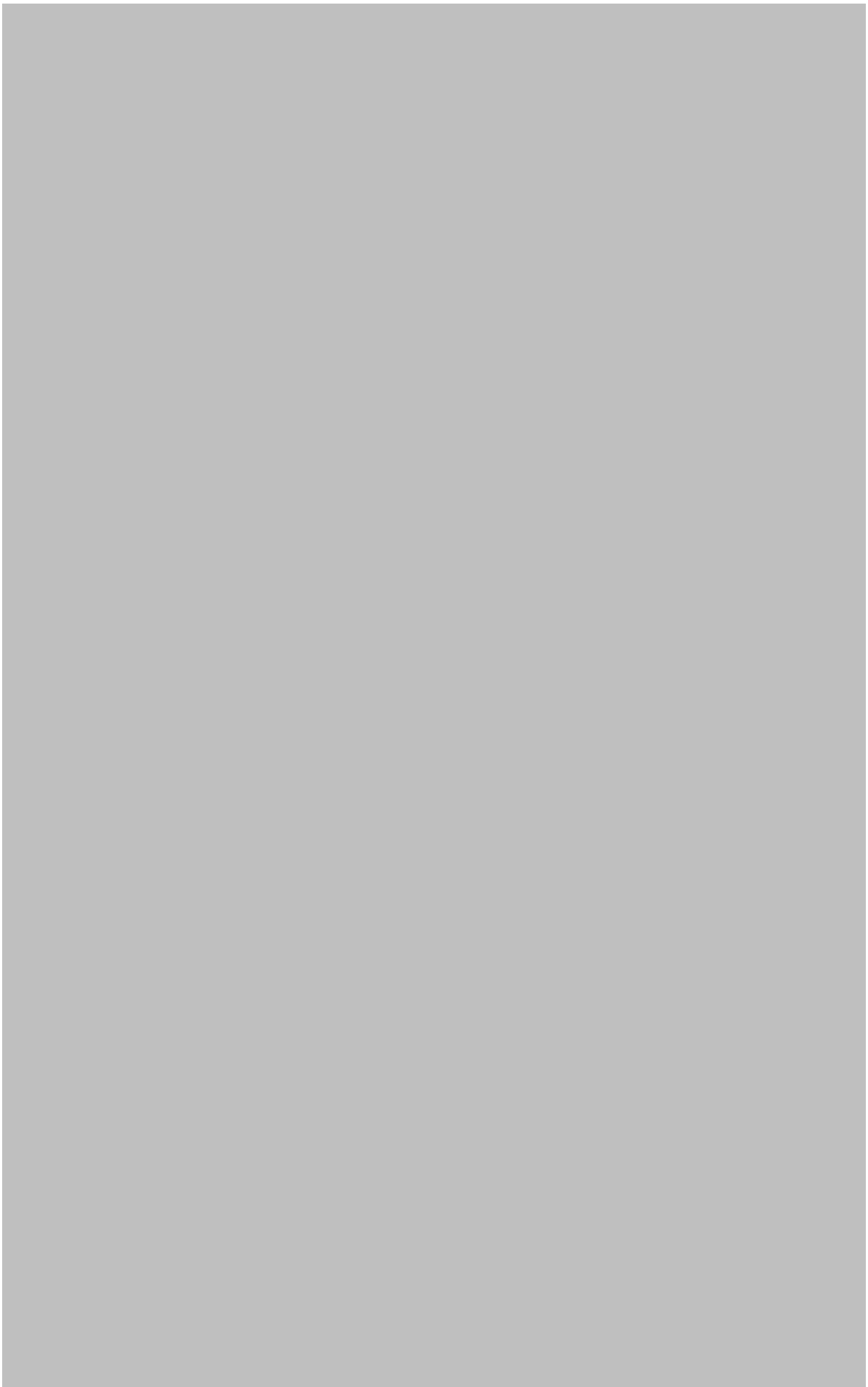




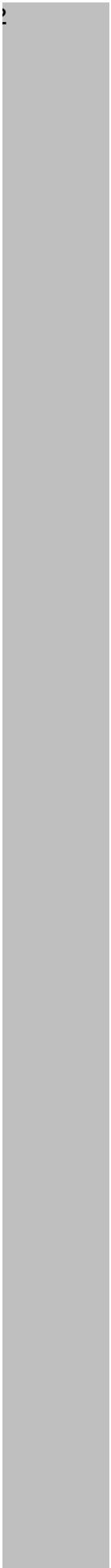
一体改革分野
社会保障
社会資本整備等
制度・地方行財政
文教・科学技
-

ブロック名
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O
P
Q
R
S
T
U
V
W
X
Y
Z
a
b
c
d
e
f
g
h
i
j
k
l
m
n
o
p
q
r
s
t
u
v

契約方式その2
一般競争契約
一般競争契約
指名競争契約
指名競争契約
随意契約
随意契約
随意契約
随意契約
その他







成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度
								- 年度	29 年度
女性被害の公然わいせつの認知件数を前年よりも減少させる。	女性被害の公然わいせつの認知件数 ※統計値は暦年		成果実績	件	1,130	1,039	883	-	-
			目標値	件	1,156	1,130	1,039	-	883
			達成度	%	102.3	108.8	117.7	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	平成28年の犯罪情勢								

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

I.			J.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
K.			L.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
M.			N.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
O.			P.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

Q.			R.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
S.			T.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
U.			V.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
W.			X.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

Y.			Z.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
a.			b.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
c.			d.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
e.			f.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

g.			h.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
i.			j.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
k.			l.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
m.			n.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

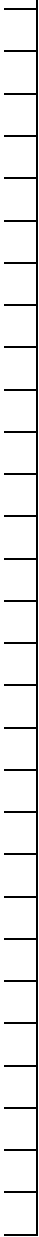
o.			p.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
q.			r.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
s.			t.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
u.			v.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
21								
22								
23								
24								
25								
26								
27								
28								
29								
30								

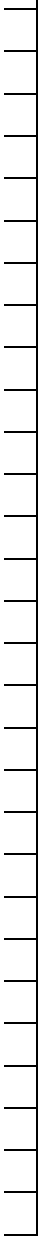
た



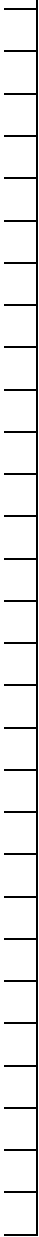
た



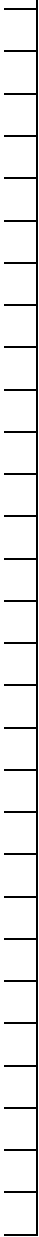
た



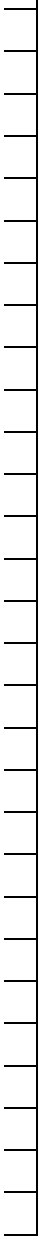
た



た



た



た

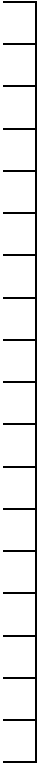


た

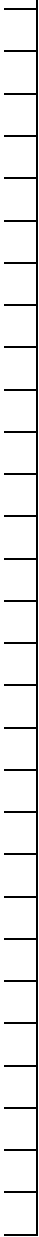
Vertical line with 20 horizontal tick marks.

た

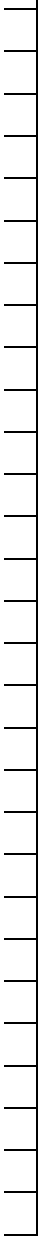
Vertical line with 10 horizontal tick marks.



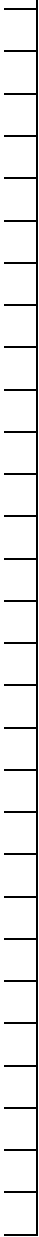
た



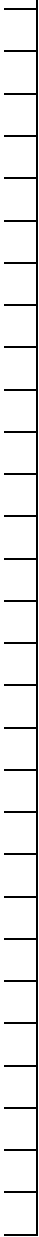
た



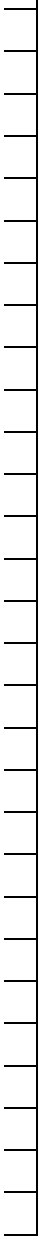
た



た



た



た



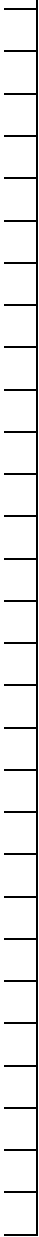
た



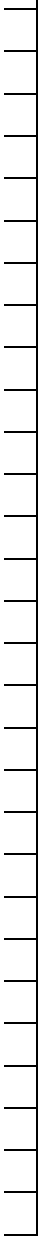
た



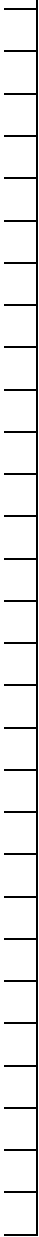
た



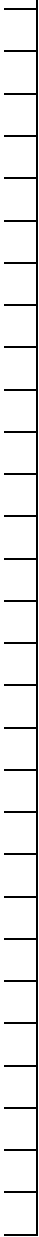
た



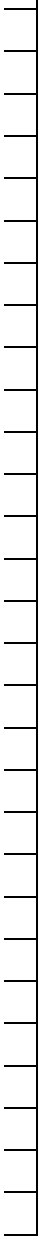
た



た



た



た



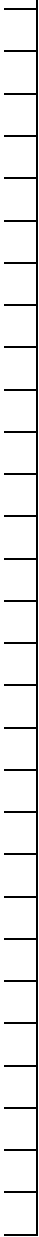
た



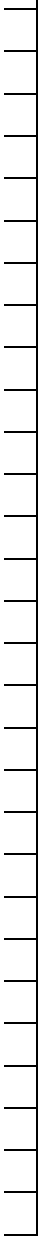
た



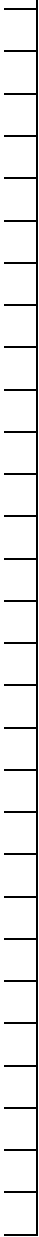
た



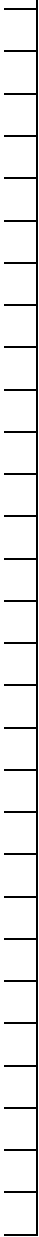
た



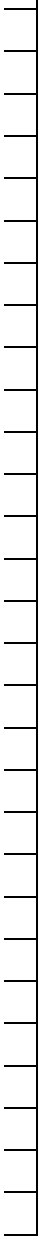
た



た



た



た



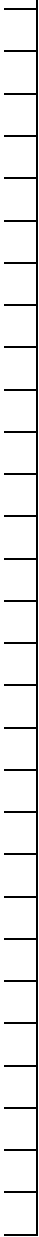
た



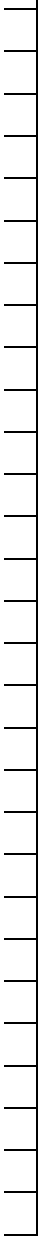
た



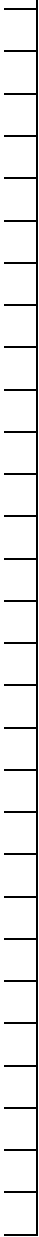
た



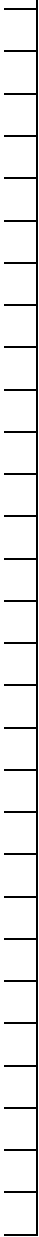
た



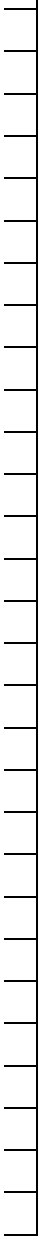
た



た



た



た



た

